

あおぞら

2013

8月号

この広報誌は、田園調布中央病院と患者さまが一体となって、病気やけがと闘うために少しでもお役に立てるよう、スタッフ一同が心をこめて皆さまへお送りする情報誌です。

今月の TOPICS

- 「ピロリ菌の除菌について
～今春より保険適応に～」
- 「健康診断の必要性」

内科医師 三木谷 孝誠
医事課 新井 宣恵



内科:(一般・リウマチ・膠原病・呼吸器・消化器)
外科:(一般・消化器・呼吸器外科・肛門 内視鏡外科)
小児科:(一般・感染症・アレルギー・予防接種・育児相談)
整形外科:(一般・骨折・各関節痛・ひざ・骨粗鬆症)
眼科:(一般・白内障・網膜剥離・緑内障)
 泌尿器科・循環器内科・皮膚科・疼痛外来
 形成外科・脳神経外科

医療法人社団七仁会
田園調布中央病院
〒145-0071



東京都大田区田園調布 2-43-1

TEL:03(3721)7121

田園調布中央病院ホームページ

<http://www.tmg.or.jp/denencyofu>

発行:田園調布中央病院 広報委員会

病院理念

支える医療を実践する

基本方針

- ・救急・急性期医療に全力で取り組む事で、命を支えます。
- ・地域の方々と共に地域医療へ貢献する事で、地域を支えます
- ・疾病の早期発見・予防に努める事で、健康を支えます

患者様の権利

当院では患者様の

1. 良質で公平な医療を受ける権利
2. 医師による説明を受ける権利
3. 医療を選択し自己決定する権利
4. プライバシーを尊重される権利
5. 事故情報の開示を求める権利
6. 個人情報を守る権利

患者様の権利を尊重し安全で良質な医療の提供を行うために患者様のご協力をお願いいたします。

●ピロリ菌の除菌について



内科医師 三木谷 孝誠



今春より
保険適用に

古くから胃の中は胃酸の殺菌作用のために細菌が生き続けることはできないと信じられていました。ところが、1983年ピロリ菌が発見され、その後の研究で、ピロリ菌の感染がそれまでストレスが原因と言われていた胃潰瘍や急性胃炎の一番の原因だったことが分かりました。更に、加齢症状と考えられていた慢性胃炎の原因であることも分かりました。

つまり、慢性胃炎から発症する胃がんの原因が、結局はピロリ菌感染であるということが理解されるに至り世間からも大いに注目されるようになりました。発見者は後にノーベル賞を受賞しています。

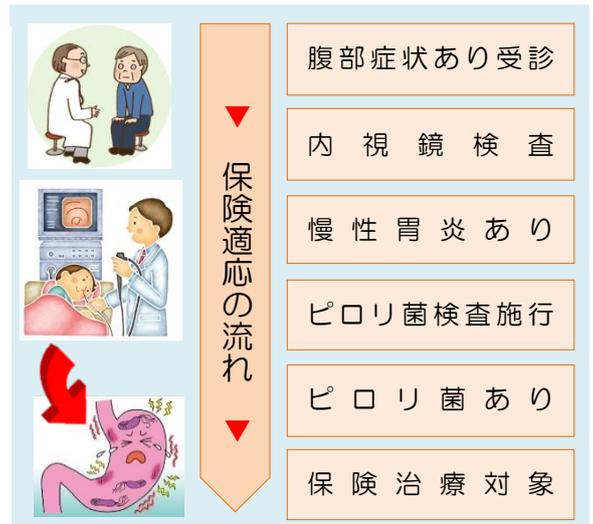
ピロリ菌を退治（除菌）する方法としては、抗生物質を2種類、抗潰瘍薬を1種類の計3剤を合わせて1週間服用する方法が確立しています。おおよそ80%前後の人に効果がありますが、残りの20%の人についてはピロリ菌が治療に使用する抗生物質に抵抗力を持っている（耐性）ため、抗生物質の種類を変えてもう一度治療を行います（二次除菌）。

当院では基本的に、内視鏡で採取した組織からピロリ菌を培養し、抗生物質に対する耐性の有無をあらかじめ調べてから除菌療法を行う方法を取り入れていますので、最初に使用する予定だった抗生物質に既に耐性があると判明した場合は二次除菌のみを行うこともあります。

これまで、ピロリ菌の除菌療法は胃潰瘍などには保険の適応がありましたが、患者さんの大多数を占める慢性胃炎には認められていませんでした。しかし、ようやく今春から慢性胃炎の患者さんにも除菌療法が保険適応になり、ピロリ菌に感染した慢性胃炎の患者さんを治せるようになりました。これに伴って、将来の日本での胃がんの発生が激減することが期待されています。

ここで注意が必要なのは除菌療法を保険で行うには、**（右図）一定のルール**があることです。まず、腹部症状があって病院を受診し、「内視鏡検査」を施行して慢性胃炎が認められ、その結果ピロリ菌の検査を行うことになり、ピロリ菌が見つかったという人が保険治療の対象です。この順番でなくてはなりません。

ピロリ菌が心配だからという理由で、先にピロリ菌の有無の検査をして、陽性と判定されてから内視鏡検査を行うというように内視鏡検査を後回しにする方法は保険治療の適応外なので注意が必要です。



慢性胃炎の診断は内視鏡検査に限定されていますから、大田区の胃がん検診（バリウム検査）で慢性胃炎と診断されても残念ながら保険適応になりません。尚、人間ドックで「内視鏡検査」が行われ、慢性胃炎と診断された場合に限っては保険が適応されます。

◆胃もたれ、腹痛など何らかの腹部症状をお持ちの方は、ぜひ一度外来受診をして頂き、内視鏡検査を受けてみましょう。

● 「健康診断の必要性」



医事課 新井 宣恵

近年、食生活の変化や運動不足によって知らず知らずのうちに、体が病んでしまっていることがあります。

以前は「成人病」、現在は「生活習慣病」と呼ばれる

「がん」「脳卒中」「心臓病」などがそれです。

これら生活習慣病の特徴は、症状がなかなか出現せず、

本人が気付かないことです。「体の調子がよくないな」

「最近すぐ疲れるな」などと思って病院に行ったときには、

病状はかなり進行している場合も少なくありません。

生活習慣病



健康診断は自覚症状が現れる前に生活習慣病等をチェックするいい機会なのです。

自身の健康を守るためにも、まずは皆さん一人ひとりが自分自身のからだに向き合うことが予防の第一歩です。

1年に1回、定期的に健康診断を受診しましょう。

また、健診の項目、検査方法、機器などは健診機関によって少しずつ

異なります。以前の健診結果と正確に比較できるように、同じ健診機関での受診が望ましいと言えます。



再検査は必ず受けましょう

一次健診は体全体を広く浅く調べて異常の疑いがある方とそうでない方をふるい分ける検査です。異常の疑いのある方は、再検査を実施してみないと正しい判断ができません。

自覚症状がなくても進行する病気もあります。

「病気といわれたら怖い」からと再検査をためらう方がいますが、一次健診を活かすためにも再検査の対象となったときは必ず受診しましょう。

そして、日ごろから自身の体のチェックを行いましょ。体の状態は、数か月単位で変わることもあります。

健診結果を活かしましょう

検査結果はこれまでの生活習慣の結果を示すものです。

日常生活の中に活かしてこそ意義があります。結果を受けとめ食生活や

運動習慣、休養、喫煙など、生活習慣の改善目標を立て、実行しましょう。

また、健診結果を毎年保存し、自身の適正値を知ることも大切なことです。

1回の健診結果を見るだけでなく、過去からの変化を見ることで、体の異変にも気づくことに繋がります。



毎日いきいきとした生活を送りたい。

心身ともに健康でありたい。

健康は私たちすべての人たちの願いです。

当院では健康診断、人間ドッグ、乳がん検診、肺がん検診
を行っております。

ご不明な点は医事課健診担当までご相談下さい。



いきいき♪



当院で行っている健康診断

健康診断 12,600 円
受付(月・火・木・金・土) 9:00~11:00
問診・血圧・身長・体重・肥満度指数(BMI)
視力・聴力・尿検査・貧血検査・肝機能検査
糖尿病検査・心電図・胸部レントゲン
人間ドッグ 37,800 円~※要予約
乳がん検診 7,350 円 ※要予約
CT 肺がん検診 8,400 円 ※要予約

大田区で行っている健康診断

大田区の健康診断には定員数に
限りがあるものがありますので、
受診希望の方はご確認のうえ受診
いただきますようお願い致します。

特定健診
胃がん・肺がん・大腸がん検診
乳がん検診
前立腺がん検診
B型・C型肝炎ウイルス検診
39歳以下基本健康診査
緑内障健診



診療受付時間

受付時間：午前の部 8:00~12:00 (小児科 11:30) 午後の部 8:00~16:30

診療時間：午前の部 9:00~ 午後の部 14:00~

面会時間：11:00~20:00

◆診療科により受付・診察時間が異なる場合があります。

詳細につきましては、お気軽にお電話または受付までお問い合わせください。

◆ご面会は他の患者様に迷惑のかからないよう、面会時間をお守りください。